

自分の力で生きる



このたび札幌いちご会は未来に生きる障がい者のためにNPO法人化することとなりました。私たちはあたたかな手で支えられながら“どんなに障がいが重くても自分の意志で生きること”を実現させてきました。命を支える制度は少しずつ良くなりましたが、最近はまだ昔に戻りつつあるような気がします。少しずつ弱いものが生きにくくなり、いずれ邪魔者として社会から除けられるときが来るかもしれません。もう一度、私たちが地域で生きる権利を勝ち取ってきたことを思い出さなければいけません。これから何をすべきかを一緒に考えてみませんか。

理事長 小山内 美智子

第一部「自分の力で生きる」講師 竹田 保

◆尻ミッターフジオのハッピー体操◆



第二部「ケアを受けながら働く」ディスカッション

大谷 哲也 (NPO 法人 LIFE INNOVATION 理事長、脳性まひ)

登り口 倫子 (社会福祉士、社会福祉法人あむ勤務、脳性まひ)

小山内 美智子 (NPO 法人札幌いちご会理事長、脳性まひ)

重度の障がい者が自ら先頭に立って運営していくことは、当事者が抱えている夢や希望を支える組織としてともに悩み、行動していくことだと思います。

私は筋ジストロフィーで入所施設を飛び出して、地域で暮らすようになり30年になります。30年前地域で暮らしたい、企業で働きたい、という夢を描いたときに、できない理由が次から次へと立ちはだかってきました。でも、できないことには目をつぶり、夢の実現に向けて四苦八苦しながらいままで過ごしてきました。

38年前のいちご会は小さなアパートで寄り添いながら重度障がい者の自立生活を実現しました。これからも当事者組織として活動していくことが、私たちのもっとも重要なミッションだと思います。



竹田 保 1960年木古内町生まれ。先天性の疾病のため車いすを利用する。88年にNPO法人ホップ障害者地域生活支援センター設立。理事長。障がい者支援施設などを5つ運営する「社会福祉法人HOP」と、福祉用具販売等を行う「株式会社北海道オフィスプロダクツ」代表。社会福祉法人アンビシャス理事長。

日時：2015年10月24日(土) 13:30~16:00 (開場 13:00)

場所：札幌市生涯学習センターちえりあ 2階大研修室

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10 地下鉄宮の沢駅直結

参加無料・申し込み不要

お問合せ

NPO 法人札幌いちご会

札幌市西区西町南18丁目2-1 稲嶺ビル1階 (平日9:00~17:00)

TEL 011-676-0733

FAX 011-676-0734

主催：NPO 法人札幌いちご会

後援：北海道・札幌市・社会福祉法人北海道社会福祉協議会・社会福祉法人札幌市社会福祉協議会